

各関係大学長
各関係大学学部長 殿
各関係機関の長

国立感染症研究所長
(公印省略)

エイズ研究センター長の公募について (依頼)

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、当所ではエイズ研究センター長の選考を行うことになりました。

エイズ研究センターにおいては、ヒト免疫不全ウイルスその他のレトロウイルスに起因する感染症に関し、次の業務をつかさどっています。

- ① 病原及び病因の検索並びに予防及び治療方法の研究（これらに関するレファレンス業務を含む。）及び講習を行うこと。
- ② 予防、治療及び診断に関する生物学的製剤の生物学的検査、検定及び試験的製造並びにこれらの医薬品の生物学的検査及び検定に必要な標準品の製造並びにこれらに必要な科学的調査及び研究を行うこと。

つきましては、貴学（学部、機関）、貴所または関係機関において適任者がございましたら、下記によりご推薦賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 候補者資格条件

- ① ヒト免疫不全ウイルス（HIV）感染症およびヒトレトロウイルスに関する十分な見識および研究実績を有し、自らの専門性を発揮して質の高い独創的な研究を推進できること。
- ② HIV およびその他のレトロウイルスに関わる感染症対策およびレファレンス業務に積極的に取り組む意欲があること。
- ③ HIV 感染症対策・研究における国際協力に理解があり、これらを推進できること。
- ④ エイズ研究センターをまとめる統率力と指導力を有すること。
- ⑤ 学位（博士号）を有すること。医師免許を有することが望ましい。

2. 提出書類

- ① 履歴書（A4版横書き、氏名、生年月日、本籍（都道府県名）、現住所、学歴（高等学校卒業以降）、学位、職歴、1カ月以上の海外歴とその内容、所属学会名、学会等での役職名、賞罰、健康状況等。）
- ② 業績目録（A4版横書き、別紙様式をご参考下さい。）※corresponding author（責任著者）論文には、必ず各題名の書き出しに（責）と記入してください。
- ③ 主要論文の別刷（写し可）10編以内
- ④ 主要研究概要（A4版横書き1枚程度）
- ⑤ 応募職への抱負（A4版横書き1枚程度）

3. 応募締切日 令和5年11月2日(木) 必着
4. 選考採用試験
 - ① 書類選考 令和5年11月上旬(予定)
 - ② 面接 令和5年11月下旬(予定)
(面接に際し、プレゼンテーションをお願いする場合があります。)
5. 採用予定日 令和6年4月1日(予定)
6. 書類提出先
〒162-8640 東京都新宿区戸山1-23-1
国立感染症研究所長宛て応募書類の封筒には「エイズ研究センター長応募」と朱書の上、所長宛て親展とし、書留で郵送して下さい。
なお、提出された書類は返送致しません。
7. 問い合わせ先 国立感染症研究所 総務部人事課人事第一係 西川・谷内
電話：03-5285-1111(代表) 内線2024
E-mail : [jinji@nih.go.jp](mailto:jinja@nih.go.jp)

業績目録

氏名

1. 著書

2. 学術論文(学会誌発表等)

(1) 欧文

(2) 邦文

3. 学会発表(講演・発表等)

4. 外部資金(研究費)獲得状況(研究代表者のみ、直近5年)

(記入上の注意事項(共通))

1. 上記項目ごとに、著者名等、著書名等、発行所名(発表雑誌名)の順で記載し、それぞれを改行すること。
2. 年代の新しいものから順に記載すること。
3. 発行所名、発表雑誌名の次に巻号、ページ数及び発行等の西暦を記入すること。
(例: Journal of Virology, 78:1298-1315, 2002)
4. 欧文の発表等は、原文のまま記載し、下段に()書で和訳を記載すること。
5. 各題名の書き出しに、発表形態の種別を記載すること。(単独は(単)、筆頭は(筆)、その他は(他))
※コレスポンディングオーサー(責任著者)の論文には、必ず各題名の書き出しに(責)と記入すること。
6. 著者名等は、本人以外も省略せず全て記載し、さらに本人の名前にアンダーラインを引くこと。
7. 長期の無発表期間がある場合は、その理由書を添付すること。

(参考例)

1. 著書

- ① 労働太郎、厚生太郎
(他炎症の組織病態
〇〇社, PP.67-87, 1989

2. 学術論文

(1) 欧文

- ① Taro kousei、Jiro Kousei、Saburou Kousei、Tarou Roudou、Jiro Roudou、Saburou Roudou
(筆) An Outbreak of 〇〇〇〇〇〇〇 Infection in USA, 2002
(〇〇〇〇〇〇〇感染症のアウトブレイク-2002年アメリカ)
Epidemiology and Infection, 15:286-289, 2002

(2) 邦文

- ① 厚生太郎、厚生二郎、厚生三郎、労働太郎、労働二郎、労働三郎
(筆) An Outbreak of 〇〇〇〇〇〇〇 Infection in Oosaka, JAPAN, 2004
(〇〇〇〇〇〇〇感染症のアウトブレイク-2004大阪)
Epidemiology and Infection, 16:311-335 2004

3. 学会発表

- ① 厚生太郎
(単) ラット皮下腫瘍の消長と〇〇〇の相互関係について
第25回日本病理学会総会, 東京, 1989

4. 外部資金(研究費)獲得状況(研究代表者のみ、直近5年)

- ① 厚生労働科学研究費補助金、(課題名)〇〇〇〇〇〇
期間: 平成〇〇年~平成△△年、金額〇〇〇円/年
- ② 科学研究費補助金、(課題名)□□□□□
期間: 平成〇〇年~平成△△年、金額〇〇〇円/年